

# 緊急！議会報告

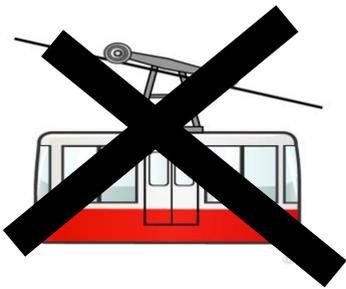
2019年3月



福岡市議会議員（東区）

おちいし<sup>としのり</sup>俊則

～皆さんは どう考えられますか？～



必要ない！

## 博多ロープウェイ 構 想



2019/1/18 付 西日本新聞夕刊

福岡市は、JR 博多駅周辺とウォーターフロント地区（博多港中央ふ頭・マリンメッセ福岡・サンパレス周辺）を結ぶ新たな交通システムとして「大博通り（約2km）」の上空にロープウェイを導入する計画を立てています。

大博通りの中央分離帯に約200m間隔で支柱を建てる構造を検討。1kmあたり約50億円の建設費を想定しています。

博多港中央ふ頭を中心としたウォーターフロント地区エリアの開発が進めば、市民や観光客等が現在の3

倍の延べ16万人に膨らみ、バスだけでは対応できないと福岡市は試算。今年の2月には、新たな公共交通システムとして「ロープウェイが最も優れている。」と結論付けました。2019年度の予算に「ロープウェイの導入検討」に向けた調査予算5000

万円が計上されており、現在、第1回福岡市議会3月定例会において審議が行われています。

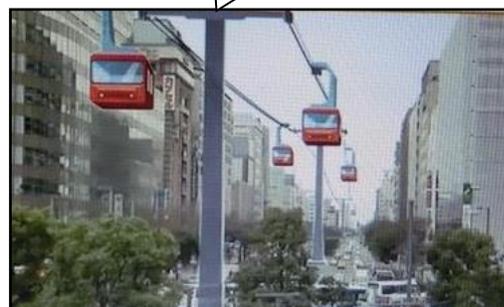
## ロープウェイ構想、何が問題か？

過大な将来予測データを前提とした  
「ロープウェイありき」の検討会議！

異議あり！

現在、ウォーターフロント地区（博多港中央ふ頭・マリンメッセ福岡・サンパレス周辺）への訪問者数は延べ5,6万人。

それが今後の開発で約3倍の延べ16万人になる、という前提がそもそも無理な数字です。



■ロープウェイのイメージ図（RKB ニュース

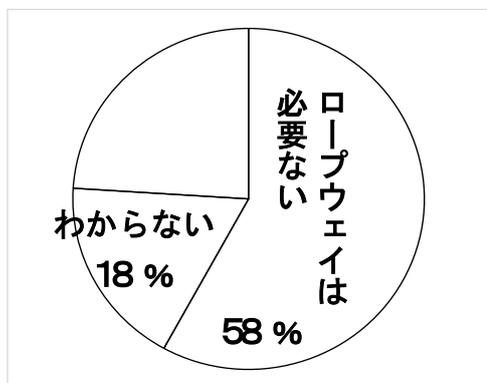
このように無理な前提で議論が進められるようになった最大の要因は、高島市長が昨年11月の市長選挙でロープウェイの導入を「選挙公約」として掲げたことにあります。

このため、市職員は市長の意向に沿うような結果を導き出すために、およそ現実的でない過大な将来予測データを使わざるを得なくなったというのが実態です。

## ロープウェイは必要ない！ ～市政アンケート結果より～

私たち福岡市民クラブは、このような検討結果を受けて、ロープウェイ導入の是非について市政アンケートを実施、合計2201名（2/28現在）の市民の方々にご回答いただきました。その結果をまとめたのが下のグラフです。

ご協力いただいた市民の過半数（58%）が明確に「ロープウェイは必要ない」



【アンケートをまとめたグラフ】

という内容でしたが、興味深いのは「わからない」という回答をされた方々が相当数（18%）いらっしゃるということです。

おそらくは、「必要なのかがわからない」ということかと思いますが、少なくともこのアンケート結果から分かることは、市民のおよそ8割が「ロープウェイの必要性を感じていない」ということです。

私たちはみなさんの声を受けて、この「ロープウェイ構想」を全力で止める決意です！！

福岡市議会議員（東区）

おちいし俊則

事務所

〒811-0204

福岡市東区奈多1丁目10-12

TEL 606-4541

FAX 606-6878